

令和元年度各務原市口腔保健指導者研修会

1. 目的

近年、誤嚥性肺炎が増加しているが、岐阜県は人口10万人に対する死亡率は全国第4位となっており、対策を早急に行っていかなければならない県であります。

対策としては「口腔のケア」と「口腔機能訓練」の重要性が挙げられ、口腔機能低下症の早期の発見から機能回復までを他職種が一丸となって対応していく必要があります。

高齢者、在宅医療に関係してみえる職種の皆様にとって今回の研修が非常に重要と考え、保健・福祉・医療の現場における指導的立場の関係者を対象に研修会を開催します。

2. 日時 令和2年 2月 6日(木) 13時30分～15時30分
※受付は、13時10分より行います。

3. 会場 各務原市産業文化センター 2階 第3会議室

4. 内容 演題 『口腔機能管理、摂食嚥下リハビリを実践するために』
～基礎知識と実践へのポイント～
講師 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座
障害者歯科学分野 准教授 谷口 裕重 先生

5. 対象者 各務原市歯科医師会会員、岐阜県歯科衛生士会各務原支部会員、
介護予防事業所関係者、市保健事業担当者等
定員 140名

6. 主催 各務原市口腔保健協議会、各務原市、各務原市歯科医師会

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ プ ロ グ ラ ム ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

13:30 開会の辞
各務原市口腔保健協議会長あいさつ

13:35~15:30 講演
演題 『口腔機能管理、摂食嚥下リハビリを実践するために』
～基礎知識と実践へのポイント～
講師 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座
障害者歯科学分野准教授 谷口 裕重 先生

質疑応答

15:30 閉会の辞
各務原市口腔保健協議会副会長あいさつ